

各 位

上場会社名	小倉クラッチ株式会社
代表者	代表取締役社長 小倉 康宏
(コード番号	6408)
問合せ先責任者	常務取締役 河内 正美
(TEL	0277-54-7120)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年8月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位: 百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	340	510	50	3.33
今回発表予想(B)	25,401	541	525	157	10.48
増減額(B-A)	401	201	15	107	——
増減率(%)	1.6	59.1	2.9	214.0	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	25,599	528	741	13	0.88

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,700	430	720	110	7.33
今回発表予想(B)	45,740	60	△250	△690	△45.98
増減額(B-A)	△4,960	△370	△970	△800	——
増減率(%)	△9.8	△86.0	—	—	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	49,529	548	214	△626	△41.75

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,360	40	260	△20	△1.33
今回発表予想(B)	18,808	240	288	12	0.81
増減額(B-A)	448	200	28	32	——
増減率(%)	2.4	500.0	10.8	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	18,026	200	210	△138	△9.20

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,970	160	520	190	12.66
今回発表予想(B)	35,370	190	10	△285	△19.00
増減額(B-A)	△2,600	30	△510	△475	——
増減率(%)	△6.8	18.8	△98.1	—	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	37,597	591	314	△243	△16.24

### 修正の理由

(1)連結業績予想

第2四半期累計期間

売上高は当社の売上高が予想を若干上回り、連結売上高も予想より若干上回る見込みです。また、ユーロ高により売上高が73百万円ほど増額となっております。売上高の増加による粗利率の好転と資源価格の上昇にともなうスクラップの売却収入の増加などにより営業

利益は当初予想を上回る見込みです。経常利益につきましては、当初予想よりも為替差益が減少したことにより、増加幅が圧縮されました。四半期純利益につきましては、子会社の法人税等の還付等により増加する見込みです。

#### 通期

第3四半期以降、世界的な自動車需要の低迷が予測されるため、輸送機器用クラッチの国内外からの受注が当初予測から大幅に落ち込むことが見込まれ、売上高が減少いたします。それらにともない、通期においては吸収しきれない固定費が発生するため、営業利益は減少いたします。また、大幅な円高の進行により、通期においては為替差損320百万円を見込んだ結果、経常損失、当期純損失となる見込みです。

#### (2)個別業績予想

##### 第2四半期累計期間

売上高は国内売上が予想を若干上回り、輸出関連の売上高はユーロ高により40百万円ほど増額となっております。売上高の増加による粗利率の好転と資源価格の上昇にともなうスクラップの売却収入の増加などにより営業利益は当初予想を上回る見込みです。経常利益、四半期純利益につきましては、当初予想よりも為替差益が減少したことなどにより、増加幅が圧縮されました。

#### 通期

第3四半期以降、世界的な自動車需要の低迷が予測されるため、輸送機器用クラッチの国内外からの受注が当初予測から大幅に落ち込むことが見込まれ、売上高が減少いたします。それらにともない、通期においては吸収しきれない固定費が発生するため、営業利益は減少し、為替差損200百万円を見込んだ結果、経常利益も減少し、当期純損失が見込まれます。

以上